

清都建第発545号

平成20年10月20日

国土交通省 道路局長 殿

清武町長 鑑 和俊



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

このことについて、別紙のとおり今後の道路行政についての意見・提案を提出いたします。

記

1. 提出様式 様式①、様式②、様式③、様式④

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式①

宮崎県清武町

○ 現状

清武町においては、東九州自動車道（清武～日南間）の未整備、国道の歩道整備等、県道においては幅員狭小、急カーブ及び歩道整備等の未改良箇所が多い。

また、町道の改良率も43%と低くそのため、産業・経済等の発展や地域住民の日常生活に支障を来している。

○ 課題

高速道路の整備と国・県道の整備及び地域住民の生活道路としての町道の整備により、道路のネットワークを確立することで、産業、経済等の発展が図られ、安心・安全の道路行政を進めることが可能となります。

そのためにも、地方の実情を考慮して頂き、重点的に予算の配分を要望したい。

今後の道路行政についての意見・提案

② - 1 地域の現状と抱える課題

様式②

宮崎県清武町

○ 現状

清武町の町道は、認定路線数499路線、実延長212km（平成20年3月現在）であるが、町道改良率43%ときわめて低く、地域住民からの道路整備の要望が多いが財政的な面で道路整備が出来ない状況にある。

499路線、212kmの町道の維持管理についても、多くの費用が必要であるが、十分に措置出来ない状況にある。

87橋梁のストックがあり、確実に老朽化が進んでいる。

○ 課題

高速道路の整備と国・県道の地域の整備及び地域住民の生活道路としての町道の整備により、道路のネットワークを確立することで、産業、経済等の発展が図られ、安心・安全の道路行政を進めることが可能となります。

そのためにも、地方の実情を考慮して頂き、重点的に予算の配分を要望したい。

舗装補修等に補助制度が創設されれば、適切な維持管理ができる。

厳しい財政状況のなか、コスト縮減を図り、長寿命化をいかに実現するか苦慮している。

今後の道路行政についての意見・提案

② - 2 地域の目指すべき将来像

様式③

宮崎県清武町

東九州自動車道の早期完成により、九州全域の高速交通ネットワーク化が図られるため、企業誘致の促進が図られ、これによる働く場の確保が図られ、産業・経済等の発展に繋がるものと考えられます。

また、地方の幹線として国・県道の未改良区間が整備をされることにより、災害時の緊急輸送路や病人やけが人の救急輸送路及び県内及び県外の各市町村間の有機的交流が図られる。

さらに、地域住民が日常利用している町道を整備することにより、日常生活の利便性の向上が図られる。

今後の道路行政についての意見・提案

③ 道路施策の重点事項（代表事例・期待する効果や評価等）

様式④

宮崎県清武町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	東九州自動車道の早期完成	東九州地域における高速交通体系の整備は、西九州に比べて大きく遅れており、東九州の産業、経済、観光、文化等の発展を図る上で東九州自動車道の早期完成は町民の悲願となっています。 東九州自動車道が完成することにより、宮崎から日南間の時間短縮が図られ、災害に強い道路が完成することになり、通行規制の回避が図られる。 併せて、宮崎大学医学部付属病院等の高度医療の利用が容易となる。また、日南海岸との回遊型観光も可能となる。	